

2020年12月21日  
公益財団法人渋谷育英会

## インドネシア・ジャカルタ 第5回日本語作文スピーチコンテスト特別協賛について

2020年12月19日、広島大学「福山通運小丸賑わいパビリオン」において、公益財団法人小丸交通財団、広島大学 PERSADA 共同プロジェクトセンター、ダルマプルサダ大学の共催による「第5回ジャカルタ日本語作文スピーチコンテスト」に特別協賛しました。このたびは、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況のなか、日本とインドネシアをつないでの初めてのリモート開催となりました。

このコンテストは、テーマを「交通」とし、インドネシアの日本語教育をリードする10大学117名の学生の応募があり、その中から選出された優秀賞受賞者10名がコンテストに出場しました。

コンテストの冒頭には、公益財団法人小丸交通財団の小丸成洋理事長、ダルマプルサダ大学のトリ・マジョルコ学長からご挨拶を賜りました。続いて、来賓として在インドネシア日本国大使館の石井正文特命全権大使からご挨拶を賜りました。

コンテストでは、優秀者のスピーチが披露され、最優秀賞には「インドネシアでは免許の年齢に達していない子供でもバイクを運転することが常態化しており、自分も親に禁止されていたが友人にバイクの運転を教えてもらった。しかし、事故に遭いかけたことをきっかけに母から安全運転の大切さを教えられ、周りに流されず自分で考える重要性を学んだ」とスピーチしたブラヴィジャヤ大学のデア・ボウディ・カミラさんが選ばれました。最後に、広島大の越智光夫学長から閉会のご挨拶を賜りました。



(第5回日本語作文スピーチコンテスト会場)



(スピーチコンテスト記念撮影)